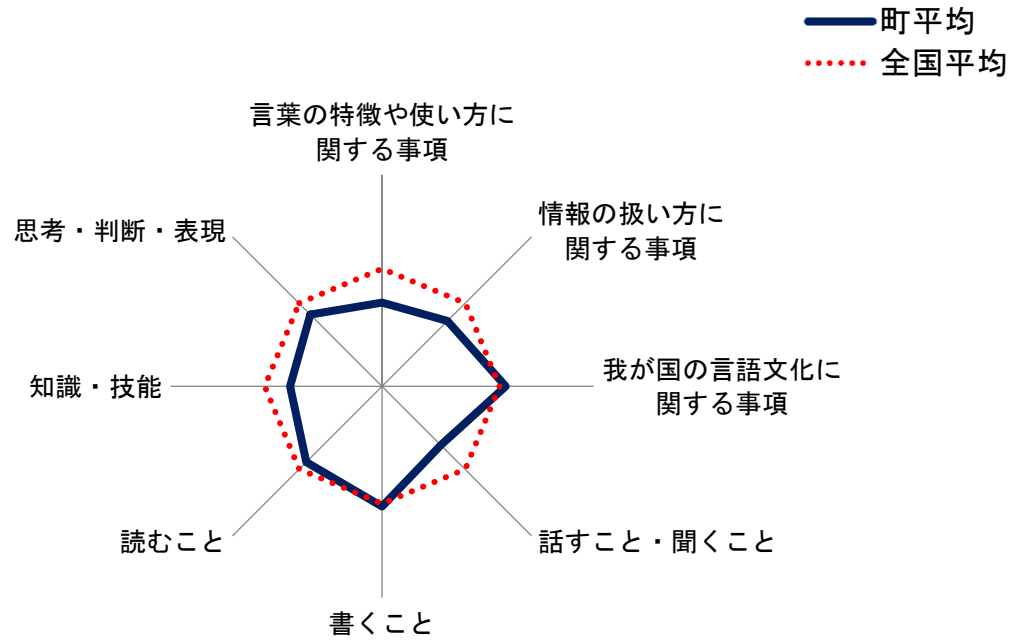
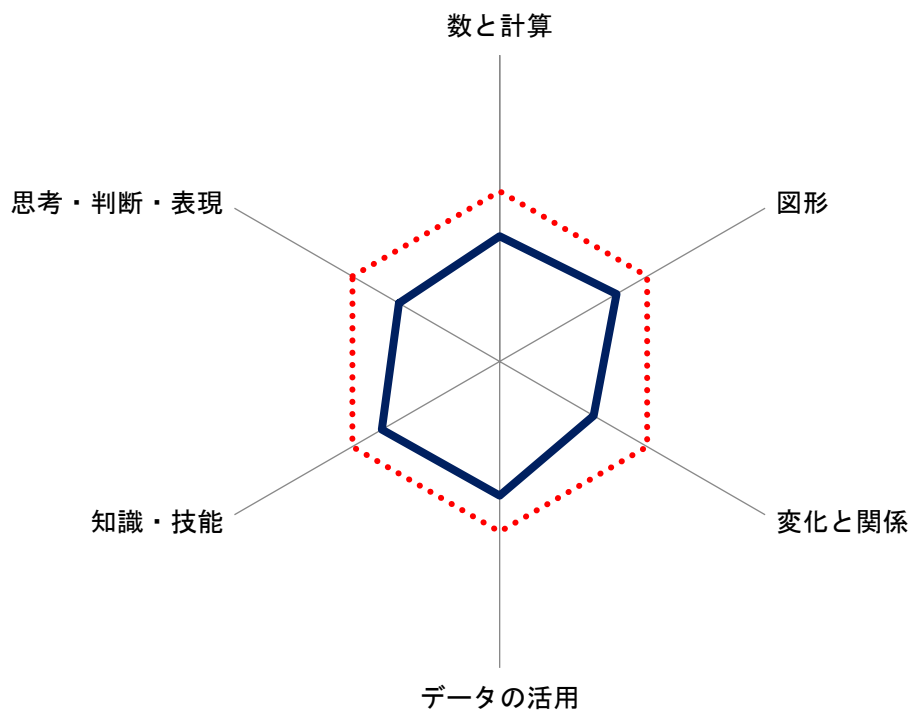


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

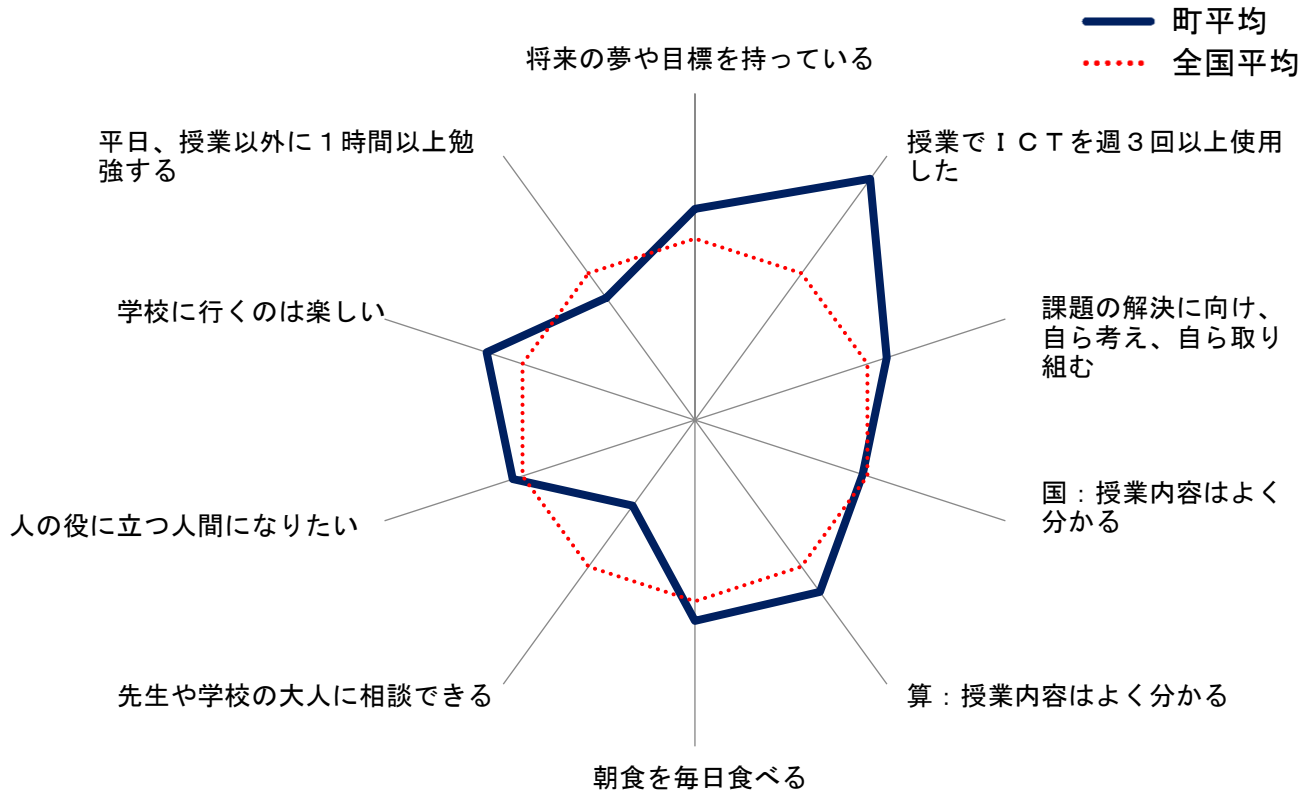
【国語】



【算数】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、ほとんどの項目が全国平均とほぼ同じか、下回っている。特に、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」、算数の全ての項目が全国平均を大きく下回っており、基礎的な知識及び技能の定着やその活用に課題が見られる。今後は、全国平均を下回った要因を詳細に分析し、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続することで、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成が望まれる。

児童質問調査では、「授業でICTを週3回以上使用した」の項目が全国平均を大きく上回っており、ICTの積極的な活用がうかがえる。一方で、「先生や学校の大人に相談できる」の項目が、全国平均を大きく下回っており、課題が見られる。今後は、児童と対話を通して関わる機会を多く設けるなど、相談体制の構築を学校、家庭、地域が一体となっていくことが望まれる。